



サイドバイザー取付説明書

取付け完了後の点検

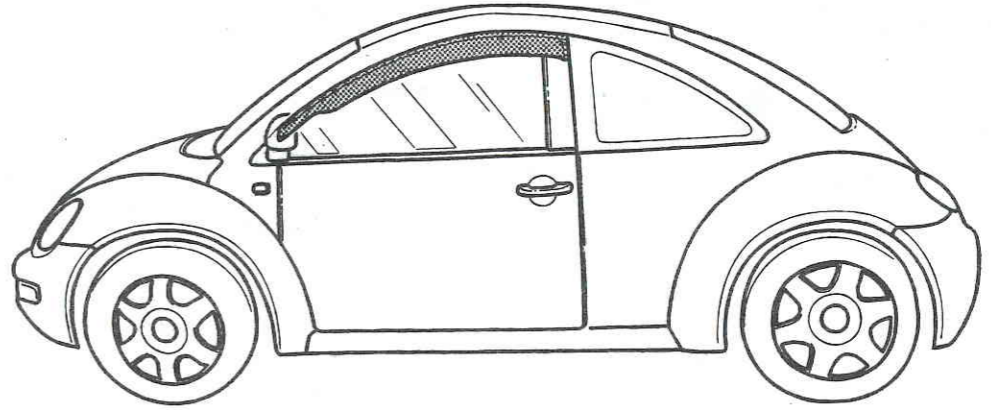







1. 取付け後、各ガラスを上下し、各ドアを開閉してみ、バイザーが、ガラスやボディに干渉しないことを確認します。又、ドアミラーをたたんで、バイザー本体との干渉のないことも確認してください。
2. バイザーを下からのぞき込み、両面テープがドアフレームの接着面全体に、密着しているかを確認してください。密着されていない部分は、再度十分に圧着してください。
3. 金具とバイザーが確実に固定されているか、確認してください。
4. 取付け後24時間は、雨水での濡れや洗車等の作業はさけ、自然放置してください。水分が付着すると両面テープの接着強度の低下により、はがれ、脱落等の原因となります。

ドアミラー交換時の注意

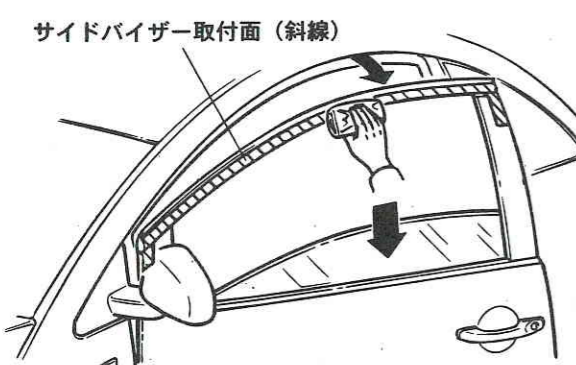
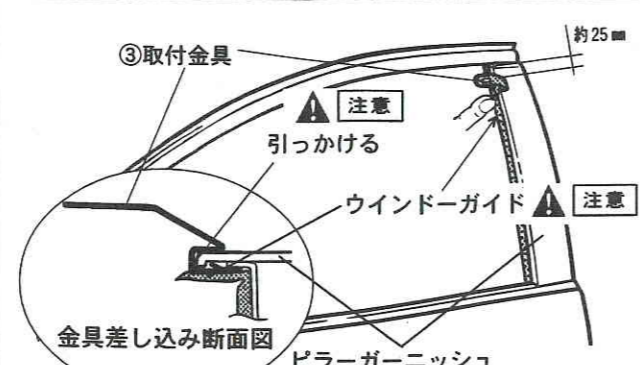
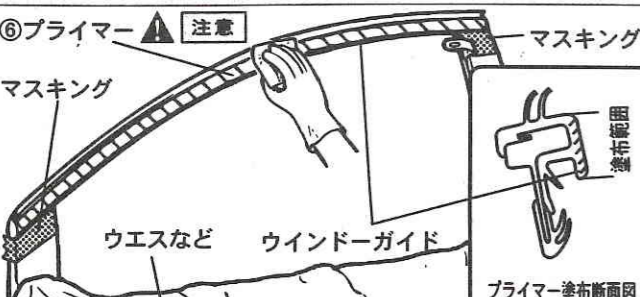
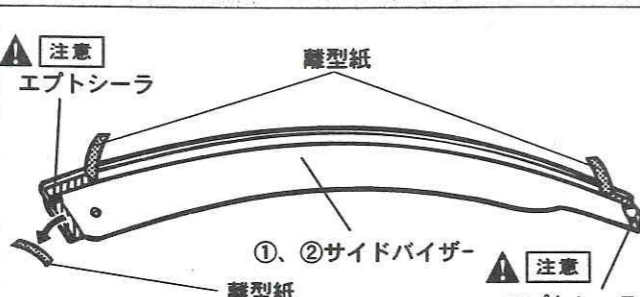
本バイザーはサイドバイザーの脱着無しに、ドアミラーの交換が可能な構造になっています。万が一、ドアミラーを交換する際は、サイドバイザーを外さずに、最新のワークショップマニュアルを参照し、ドアミラーの脱着作業を行ってください。

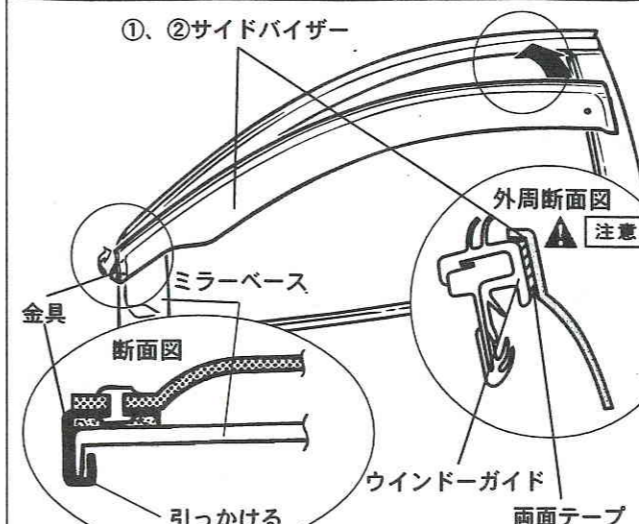
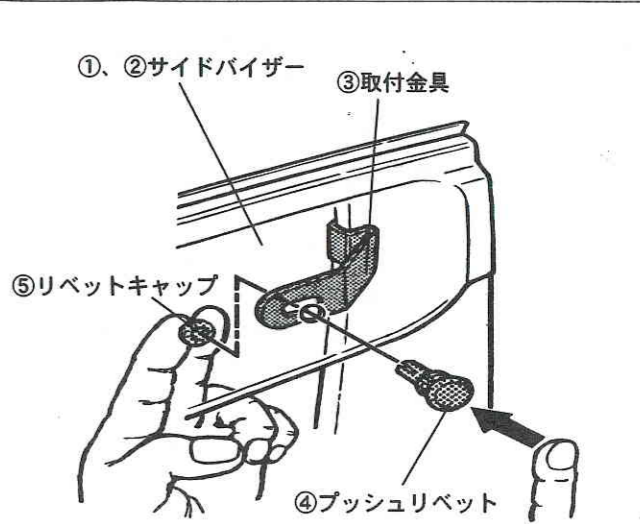
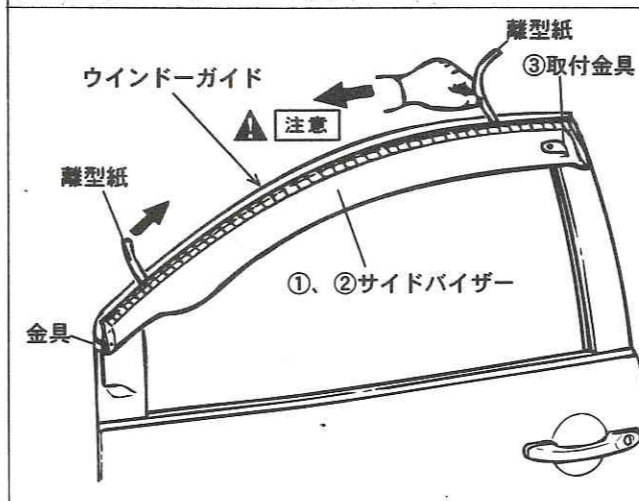
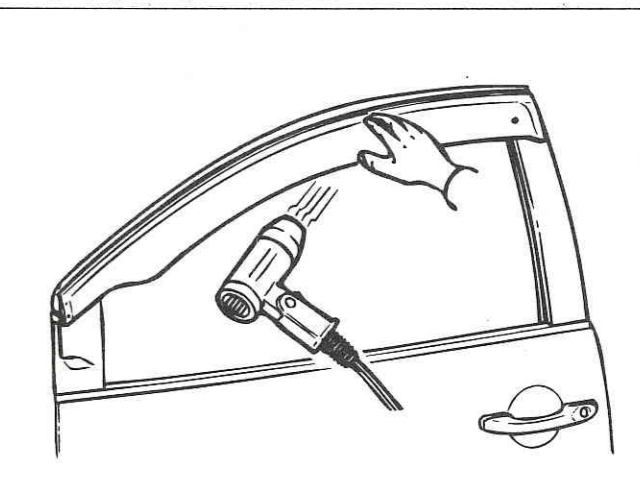
販売店様へのお願い

この取付説明書を、必ずお客様へお渡しくださいますよう、お願いいたします。

MODEL: ニュービートル '00~		パーツNo.	J1C FC1 A01 A
			
構成部品	部品名	パーツNo.	数量
      	① サイドバイザー 左 ② サイドバイザー 右 ③ 取付金具 ④ プッシュリベット ⑤ リベットキャップ ⑥ プライマー (取扱説明書付き) ⑦ 取付説明書	J1C FC1 A01 A	1 1 2 2 2 1 1
準備する物			
メジャー、ウエス、ホワイトガソリン、ドライヤー、保護手袋、マスキングテープなど			
▲ 取付け及び取扱い上の注意事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本文中の取付け上の ▲ 注意 は必ず取付けに反映させて作業を行ってください。もし ▲ 注意 を無視して取付けると製品の機能を阻害するばかりでなく、車両故障につながる恐れがあります。 2. 取付け面の脱脂及び水分の除去を行いませんと、バイザーの脱落などの危険がありますのでご注意ください。 3. 両面テープの取り付け作業は、環境温度が15℃以下の場合、ドライヤー等で20℃に温めてください。 4. 両面テープの離型紙を、全部はがして全面接着しないでください。位置ずれの原因となり、再度接着又は金具が、固定できなくなる場合があります。 5. 一度接着したバイザー外して、再度取付けることは絶対やめてください。接着力が低下し、はがれや脱落の原因となります。 6. 取付位置を間違えて取付けますとバイザーを变形させたり、脱落しやすくなります。 7. 取付金具の取付けが不完全ですと、ガラスが完全に上がらない場合があります。 8. バイザーはアクリル材を使用していますので、お手入れには揮発性のものは使用しないでください。 9. 雨天時などに、サイドウインドーを開けると、雨などが車内に入ることがあります。 10. サイドバイザーとサイドウインドーとのクリアランスが狭いため、決してサイドバイザーの裏側に手などをいれないでください。又、ウインドー上部のお手入れは、ウインドーを下げて行ってください。 			

取付要領

<h3>1. 取付面の確認と脱脂</h3>  <p>サイドバイザー取付面 (斜線)</p>	<h3>2. 金具の取付け</h3>  <p>③取付金具 約25mm 注意 引っかける ウインドーガイド 注意 金具差し込み断面図 ピラーガーニッシュ</p>
<p>ドアを開けてから、サイドウインドーを下げて、サイドバイザーの取付面 (ウインドーガイド部、ピラー部) の汚れ、油分、水分、ワックス等をホワイトガソリンで充分ふき取ります。</p>	<p>1) ③取付金具を図の位置に合わせ、ピラーガーニッシュとウインドーガイドの間に、取り付けます。断面図を参考に確実に取り付けてください。</p> <p>2) ウインドーガイドを、元通りに復元します。</p> <p>注意 金具取付け後、ウインドーガイドを指で押して、元の状態に戻さないと、噛み込みや水漏れの原因となります。</p>
<h3>3. プライマー (接着強化剤) 処理</h3>  <p>⑥プライマー 注意 マスクング マスクング ウエスなど ウインドーガイド プライマー塗布断面図</p>	<h3>4. サイドバイザーの準備</h3>  <p>注意 エプトシーラ 離型紙 ①、②サイドバイザー 注意 エプトシーラ 離型紙</p>
<p>ミラーベース・ピラーガーニッシュ (斜線部) をマスクングし、ウインドーガイドのサイドバイザー取付面に、プライマーを塗布します。作業後マスクングは、剥がしてください。</p> <p>注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) プライマーは、両面テープの接着力を強化させるための溶剤です。 2) 必ず下記項目に従って、プライマーを塗布してください。 <p>プライマー使用要領</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボディ塗装面をウエスなどで保護し、プライマーがボディ面に付着しない様にご注意ください。 2. プライマーは、必ず2回塗りをしてください。 3. 乾燥 (約3分、指につかない程度) してから取付作業を行ってください。 4. プライマー塗布作業は、換気の良い所で行ってください。 5. 本体の取付け以外には、使用しないでください。 6. 火気のある所では、使用しないでください。 7. 有機溶剤が含まれています。故意に吸引しないでください。 8. プライマーが顔や手に付着した場合は、早めに洗剤にて洗い流してください。 	<p>①、②サイドバイザー両端の両面テープ離型紙を3cm程度剥がし、外側に折り曲げます。縦部の両面テープ離型紙は、剥がしてください。</p> <p>注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) エプトシーラは、剥がさないでください。 2) 「3. プライマー処理」で貼り付けたマスクングテープが剥がされている事を確認してください。これ以降の作業では、剥がせなくなる恐れがあります。

<h3>5. サイドバイザーの仮接着</h3>  <p>①、②サイドバイザー 金具 ミラーベース 注意 断面図 ウインドーガイド 両面テープ 注意 外周断面図 引っかける</p>	<h3>6. サイドバイザーの固定</h3>  <p>①、②サイドバイザー ③取付金具 ⑤リベットキャップ ④プッシュリベット</p>
<p>1) ①、②サイドバイザー先端についている金具を、ミラーベースに巻き込む様に引っかけ (断面図)、バイザーとドア外周が合うように取付します。(外周断面図)</p> <p>注意 ウインドーガイド上下方向にずれないように、位置決めしてください。上下方向にズレますと、ドア開閉時に干渉します。</p> <p>2) 両面テープ離型紙の剥がれた部分を、軽く押さえ接着してください。</p>	<p>①、②サイドバイザーの穴と、③取付金具の位置が合っていることを確認し、④プッシュリベットと⑤リベットキャップで固定します。</p> <p>注意 ①、②サイドバイザーと③取付金具の位置が合っていない場合は、車両にキズを付けないよう、③取付金具を動かして、調整してください。</p>
<h3>7. サイドバイザーの接着</h3>  <p>ウインドーガイド 注意 離型紙 ③取付金具 ①、②サイドバイザー 金具</p>	<h3>8. サイドバイザーの圧着</h3> 
<p>③取付金具がピラーガーニッシュに確実に取付いているか確認し、離型紙を矢印の方向にはがしてから、①、②サイドバイザーの両面テープ部分 (斜線部) を、ウインドーガイドに接着します。</p> <p>注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一度接着したバイザーを外して、再度取付ないでください。接着力が低下し、はがれや脱落の原因となります。 2. 接着時に両面テープ部分以外を押さえると、変形する恐れがあります。 	<p>両面テープ接着部 (斜線部) を、後ろから前へまんべんなくドライヤーで約30秒間、人肌 (約40℃) 程度に温めながら圧着します。</p> <p>注意</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 加熱時間は、バイザー一本あたり約30秒間です。 2. 圧着は車両が少し揺れる程度に、強く行ってください。 3. やけどには十分に注意をして、作業してください。 4. 取付後24時間は、雨、水等で濡れないように必ず放置してください。